

令和6年度 第2回 庄内学園学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年7月16日（火） 14時00分～15時30分
- 2 開催場所 庄内学園 会議室
- 3 出席委員 日置宇津広 佐藤真悟 佐藤和彦 木村裕子 山中千恵子
徳増祐志 後藤いづみ 荻 靖義 宮本優子
オブザーバー 笹竹厚志（庄内協働センター所長）
- 4 欠席委員 日置 覚 山本真哉 徳田義盛
- 5 学 校 石田直美（校長） 今田和幸（教頭） 横山勝之（教頭）
中嶋恵美（主幹教諭） 古橋美樹（CSディレクター）
- 6 教育委員会 牧野知子（教育総務課 主幹）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 古橋美樹（CSディレクター）
- 9 議長の選出 議長の選出については、第1回の会議にて会長から今年度は徳増委員を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認している。
- 10 協議事項
 - （1）特色ある学校づくりについて
 - （2）学校運営に必要な支援について
- 11 会議記録

生徒会長より「アクティブマンデー」に実施した「SHOTIME」について説明があった。

司会の中嶋より 委員総数12人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。

（1）特色ある学校づくりについて

議長の指示により、中嶋よりアクティブマンデー（資料2、3）、小学校潮鳴祭 ACTIVE DANCE FESTIVAL（資料4）についての説明があった。

中嶋より 小学校潮鳴祭 ACTIVE DANCE FESTIVAL について、完成したダンス発表だけでなく創作過程も見てもらいたいが そのためにはどのようにしたらよいか。意見をいただきたいとの発言を受け 委員より次のような発言があった。

・潮鳴祭に向けての縦割りグループ内の活動（過程や絆が深まっていく様子）のVTRを作成し、当日発表の前に流したらどうか。子供の成長が実感できる。（荻委員・徳増委員・日置宇委員）

・保護者としては、活動的な部分の写真やVTRを見られるのは、参観会とは違う姿が見られておもしろいと思う。（徳増委員）

- ・学校で何かを変えるのはとても大変なこと。やってみないとわからないことはあるがやってみることは賛成。（荻委員）
- ・踊れる子・踊れない子に合わせ、考えて工夫をするのがねらいだが、参観している保護者が口を出さないか？今回変えたことによりこのように子供たちを育てたいというねらいを含め、さくら連絡網などを使って発信し保護者へ周知することが大事。（日置宇委員・徳増委員）
- ・物を使っても良いなどのルールも決めておくといい。出来よりも達成感。やってよかったと思えるように…（荻委員）
- ・グループ内での変化等、ここまでの道を保護者へ発信すると良いのでは。（後藤委員）

（２）学校運営に必要な支援について

校長より休日の部活動の地域移行について（資料６）説明があり、休日の部活動の地域移行のあり方・指導員をどのように探すか について意見を求め、委員より次のような発言があった。

- ・保護者は子供が卒業、教員は異動があり継続するのは難しい。（徳増委員）
- ・教員としてではなく、地域住民としてはどうか。（佐藤真委員）
- ・保護者の中で見ていければよいと思うが、見守りはできても指導するのは難しい。指導員も１人の人にとずっとというのは難しい。（日置宇委員）
- ・卒業生に声をかけてみてはどうか？（木村委員）
- ・仕事をしている人は、土日が休みとは限らない。退職された方では長い期間は難しい。庄内の地域的には保護者のリレーが良いのでは？（徳増委員）
- ・保護者の見守りが現実的ではないか。（佐藤真委員）
- ・土日に部活をやらなければならないわけではないと思う。部活によっては土日にやらなくても良いと思う。（荻委員）
- ・吹奏楽は地域のものに参加したらどうか？（宮本委員）

校長より、今より保護者の負担が増えてしまうと思われる。令和８年９月以降、地域移行していくため 知恵・人材・つて を使って今後とも話し合いをお願いしたい旨の発言があった。

12 その他の報告・連絡事項等

中嶋より、学校支援ボランティア活動報告があった。（資料７～１１）

次回会議は令和６年１１月１１日（月）１４時から会議室で開催

また同日１２時３０分より給食、１３時０５分よりアクティブマンデーの参観を行うためそちらの出欠確認を８月末までをお願いしたい旨の連絡があった。